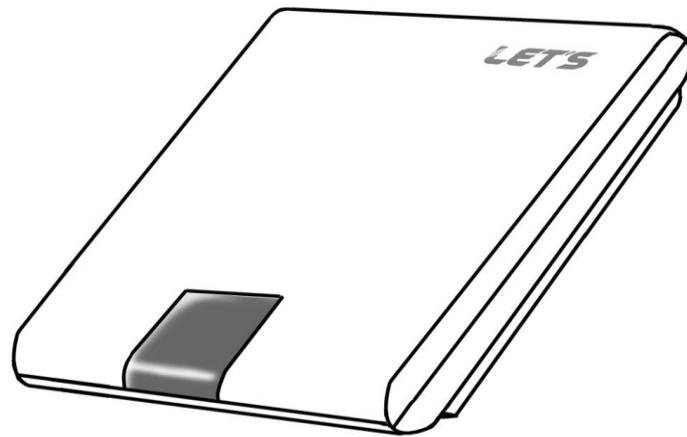


2回線収容 電話／FAX交換切替装置

TELFAX MINI P&P



取扱説明書

LET'S corporation
株式会社 **レッツ** コーポレーション

はじめに

このたびは、2回線収容 電話/FAX交換切替装置 TELFAX MINIP&Pをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

MINIP&P（以降、本装置）を安全にそして機能的にご利用いただくにあたって、本書をよくお読みになった上でご使用いただくようお願いいたします。

ご使用上の注意

本装置は電話回線専用の回線切替装置となりますので、その他の用途にご使用しないでください。

- ◆ 接続する回線の環境および通信を行う装置間における固有の問題などで、本装置のご利用が正常にできないものがあります。
- ◆ 本装置のそばにテレビやラジオなどを置かれると、映像や音声に影響が出る場合がありますので、テレビやラジオから離してお使いください。
- ◆ 本装置の内部には高電圧な箇所がありますので、分解したりしないでください。感電する恐れがあります。
- ◆ 法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても、本装置および付属品の使用、使用不能、または使用不備から生ずる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、またはその他金銭的、精神的な障害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ◆ 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- ◆ 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- ◆ 本書の内容について、ご質問やお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- ◆ 本装置には電源スイッチは用意されていないため、電源の入切は電源プラグにてお願いいたします。

目次

1. 安全上のご注意	1 ページ
2. 製品構成	5 ページ
3. 各部の名称	6 ページ
4. 接続の準備	9 ページ
5. 回線種別による接続	10 ページ
6. 基本的な使い方	12 ページ
7. 接続例	16 ページ
8. 使用一覧	17 ページ
9. お問い合わせ先	18 ページ

1. 安全上のご注意

(1) 安全にお使いいただくために

本書には、本機を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。本機をお使いになる前に、本書をよくお読みになり、ご理解された上で本機をお使いください。また本書は、本機のご使用中にいつでも参照できるよう、大切に保管してください。弊社は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全にお使いいただくために、細心の注意を払っています。

本機をお使いになる際は、本書の指示に従ってください。

(2) 表示について

下の表示は、本機を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解の上、本文をお読みください。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡又は重傷を負うおそれのある内容が書かれています。安全に使用していただくために必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある内容が書かれています。安全に使用していただくために必ずこの注意事項をお守りください。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない禁止内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく内容です。

警 告

	<p>電源プラグは根本まで確実に差し込む → 差し込みが不完全ですと発熱による火災や感電の原因になります。 ●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
	<p>煙・異臭・異音が出たり、落下、破損したときは使用を中止する → 火災、感電の原因となります。 ●販売店又は、弊社までご連絡ください。</p>
	<p>電源プラグを抜き差しするときは、金属でない部分を持つ → 感電の原因となります。</p>
	<p>絶対に分解や修理・改造をしない（分解禁止） → 火災、感電の原因となります。 ●修理は、販売店又は、弊社までご連絡ください。</p>
	<p>ぬらさない（水ぬれ禁止） → 発火、感電の原因となります。 ●ぬれてしまった場合には、直ちに電源プラグを抜き、販売店又は、弊社までご連絡ください。</p>
	<p>電源プラグ、電源コードを壊すようなことをしない（引き抜き禁止） コード、プラグを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりはしない。 → 傷んだまま使用するとショート、火災、感電の原因となります。 ●コード、プラグの修理は、販売店又は、弊社までご連絡ください。</p>
	<p>たこ足配線や、AC100V以外での使用はしない（たこ足禁止） コンセントや配線器具の定格を越える様な配線はしない。 → たこ足配線などによって定格を越えると発熱による火災の原因となります。</p>

警告



ぬれた手で電源プラグをさわらない（ぬれ手禁止）

→ 感電の原因となります。



内部に異物を入れない（禁止）

→ 火災、感電の原因となります。



本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などが入った容器、又は小さな金属物をおかない（禁止）

→ こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

●ぬれてしまった場合には、直ちに電源プラグを抜き、販売店又は、弊社までご連絡ください。



電源プラグのほこりは定期的にとってください

→ プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。

●電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でふいてください。

注 意



湿気や湯気、油煙、ほこりの多い場所では使用しない（禁止）
→ 火災、感電の原因となることがあります。



毛足の長いじゅうたんやカーペットの上で使用しない（禁止）
→ 火災、感電の原因となることがあります。



お手入れするときは電源プラグをコンセントから抜く
→ 感電の原因となることがあります。



痛んでいないモジュラーケーブルを使う
→ 痛んでいるものでは、通信異常を起こす可能性があります。
●痛んでいないもの、特にツメが折れていないものをご使用ください。

2. 製品構成

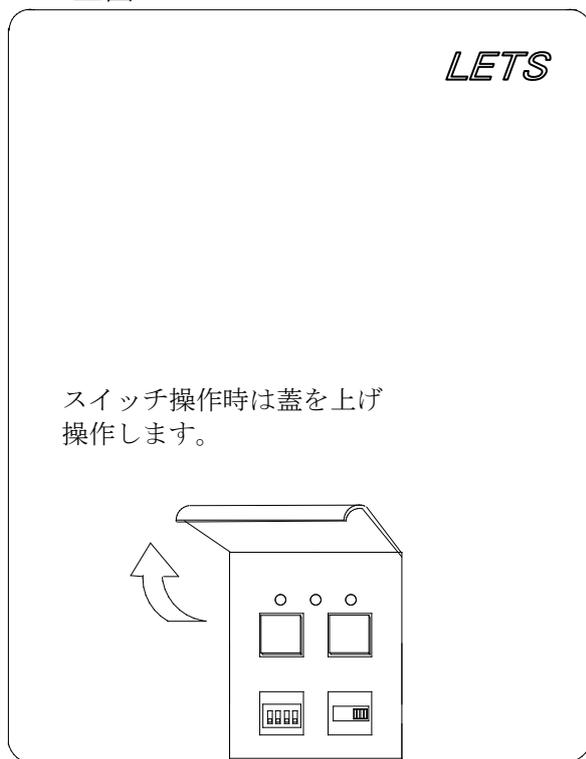
ご使用前に梱包されている内容をご確認ください。

万一、不足しているものがございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社までご連絡ください。

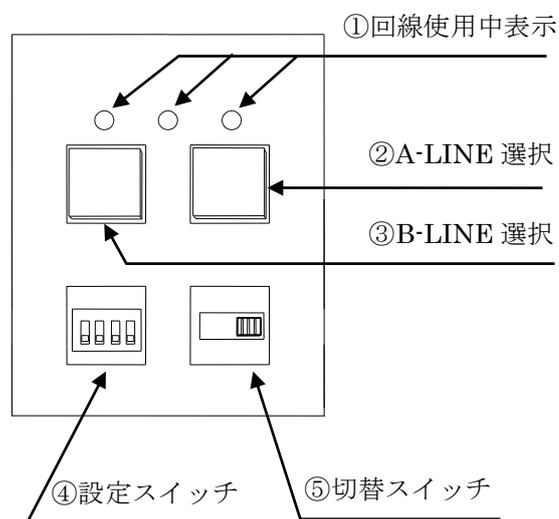
MINIP&P本体	1台
モジュラーコード（ストレート）2m	2本
モジュラーコード（クロス）2m	1本
電源アダプタ	1個
取扱説明書	1冊
保証書	1部

3. 各部の名称 I

<上面>

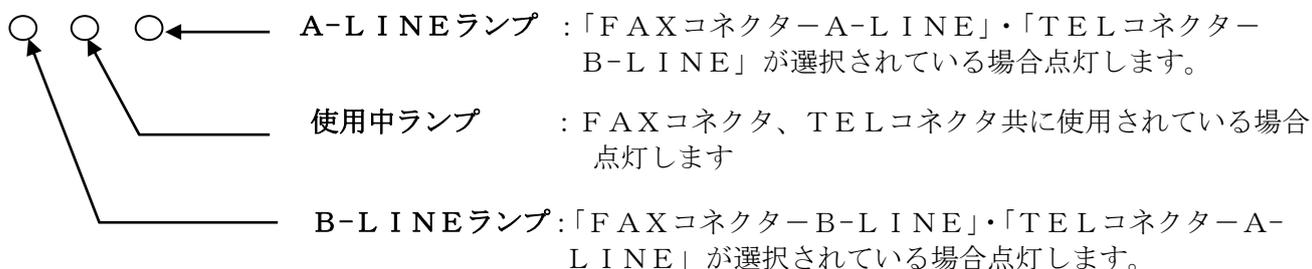


(スイッチ部の拡大図)



① 回線使用中表示

回線の使用状況を赤色のランプ表示にて表します。



② A-LINE選択スイッチ

FAXコネクタからA-LINEへ発信したいとき押します。

TELコネクタからB-LINEへ発信したいとき押します。

③ B-LINE選択

LINE選択を誤って押してしまった場合、B-LINE選択を押すことでFAXコネクタ-B-LINEへ復帰します。

④ 設定スイッチ

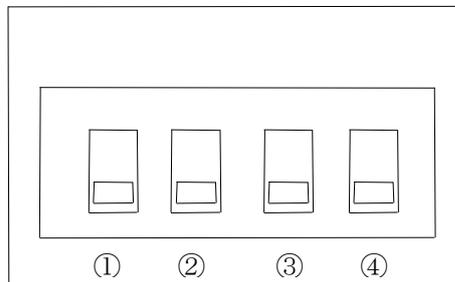
各種設定を行います。[次ページの設定スイッチ詳細をご覧ください。](#)

⑤ 切替スイッチ

B-LINE設定からA-LINE設定に切り替えるためのダイヤル番号設定スイッチです。

[設定スイッチ詳細]

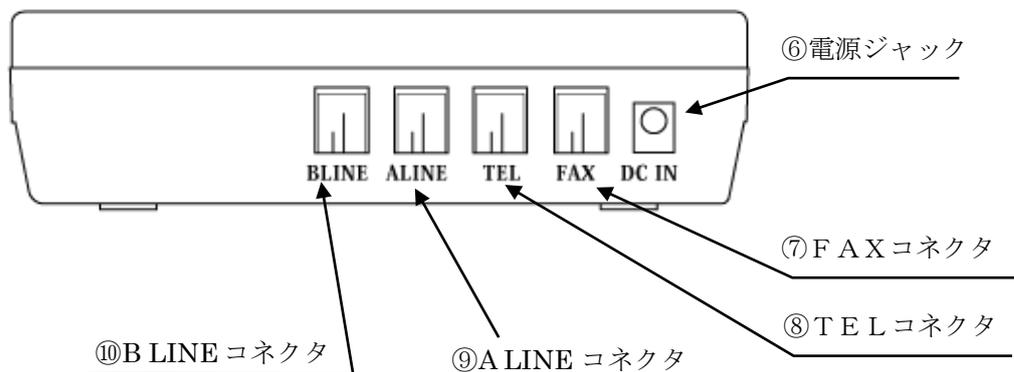
(スイッチ部の拡大図)



- ① 回線ダイヤル設定
詳しくは、『5. 回線種別による接続』をご覧ください。
- ② ダイヤルパルス設定 OFF : 20 PPS ON : 10 PPS
MINIP&Pによって発せられるダイヤルパルスの1秒間のパルス数を設定します。
接続されている回線に応じて設定してください。
- ③ 回線ダイヤル設定
詳しくは、『5. 回線種別による接続』をご覧ください。
- ④ ポーズ時間切り換え OFF : 2.8秒 ON : 2.4秒
回線切り換え番号を判定するために、切り換え番号が押されてから空けられる一定時間の最小時間を設定します。設定された秒数以上空けてダイヤリングすることで、本装置がポーズとして認識します。

3. 各部の名称Ⅱ

<背面>



- ⑥ 電源ジャック
付属の電源アダプタ差込口です。本装置に電源を供給します。
※本装置指定品以外は差込まないでください。
- ⑦ FAX (ファックス) コネクタ
電話機またはFAXを接続するためのモジュラーjackです。
- ⑧ TEL (テル) コネクタ
電話機を接続するためのモジュラーjackです。
- ⑨ A-LINEコネクタ
外線 (アナログ加入回線相当) を接続するためのモジュラーjackです。
- ⑩ B-LINEコネクタ
外線 (アナログ加入回線相当) を接続するためのモジュラーjackです。

*本装置には、回線からのFAX信号を判別してFAX機へと切り替える機能はございません。

4. 接続の準備

本装置をご使用いただくには、次の接続を行います。

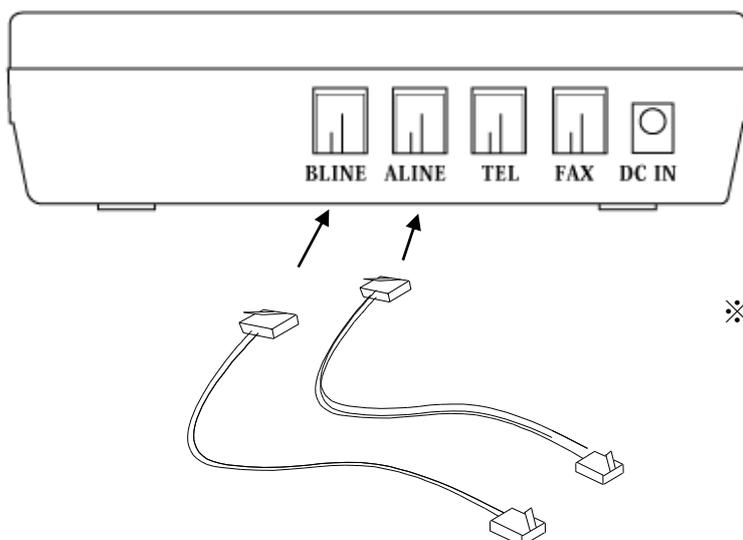
*接続の前に・・・・・・・・

本装置設置には付属のモジュラーコード2本以外にも別途モジュラーコードが必要になります。FAXや電話機で
ご使用になられているコードなど別途ご用意ください。

<回線の接続>

ALINE 及び BLINE には外線を接続します。

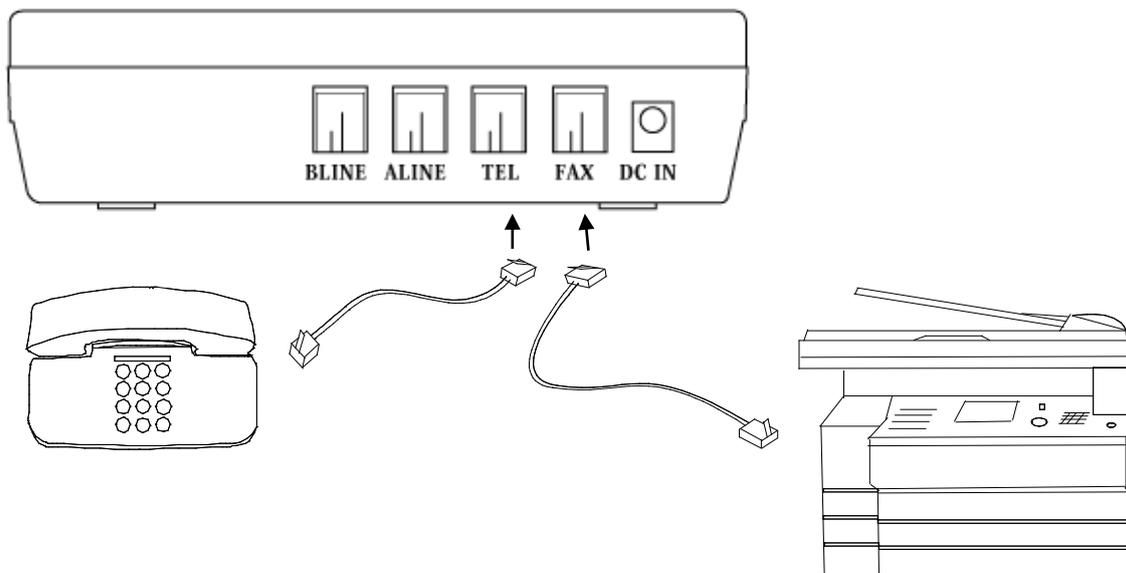
本装置には回線の極性指定はありませんが、電話機、主装置や FAX の機種により極性を指定通りに接続しないと正常動作しない場合がありますのでご注意ください。



※ A-LINE、B-LINE にはアナログ加入
回線相当以外差込まないでください。

<端末の接続>

TEL コネクタに電話機を、FAX コネクタに電話機または FAX を接続します。

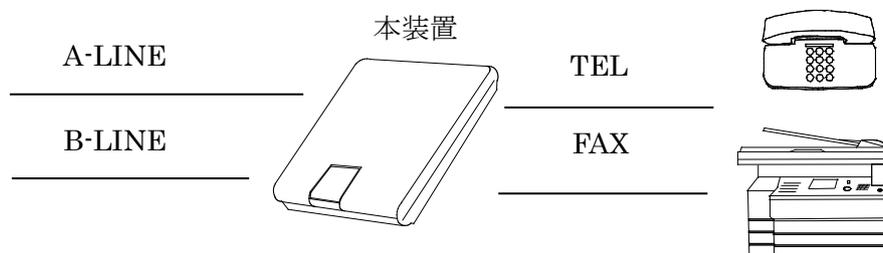


※FAX のみでご使用になられる場合、TEL コネクタに電話機を接続する必要はありません。

※TEL コネクタ、FAX コネクタに対して、端末ではないもの、(電話回線やPBXなどからの回線など)を接続すると、本装置の故障や回線への悪影響の原因となりますので、絶対に行わないようにしてください。

5. 回線種別による接続

本装置に接続する2つの回線はプッシュ方式、ダイヤルパルス方式の両方に対応しています。お客様のご使用環境に合わせて本装置の設定スイッチを合わせます。



回線種別と設定スイッチの関係

設定スイッチ		回線種別	
1番	3番	A-LINE	B-LINE
ON	ON	ダイヤルパルス方式	プッシュ方式
ON	OFF	ダイヤルパルス方式	ダイヤルパルス方式
OFF	ON	プッシュ方式	プッシュ方式
OFF	OFF	プッシュ方式	ダイヤルパルス方式

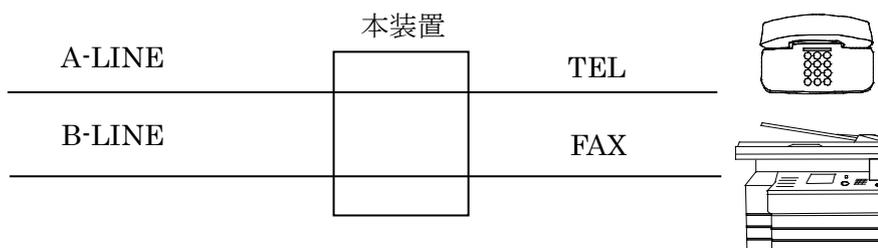
※必ず確認

本装置に接続する電話またはFAXの回線種別設定を確認してください。

回線		電話/FAXの回線種別設定	
A-LINE	B-LINE	電話	FAX
ダイヤルパルス方式	プッシュ方式	ダイヤルパルス設定	プッシュ設定
ダイヤルパルス方式	ダイヤルパルス方式	ダイヤルパルス設定	ダイヤルパルス設定
プッシュ方式	プッシュ方式	プッシュ設定	プッシュ設定
プッシュ方式	ダイヤルパルス方式	プッシュ設定	ダイヤルパルス設定

※停電時について

停電時においては、本装置は動作しないため、切り換え機能などは一切停止した状態となります。そのときの回線の状態としてはA-LINEとTEL、B-LINEとFAXが常に接続された状態となります。



<本装置を介した回線へのダイヤリングについて>

本装置は、電話機の回線種別設定と回線の回線種別が異なってもダイヤリングが行える、「パルス-トーン ダイヤリング相互変換機能」(PB-DP変換 DP-PB変換)を装備しています。

そのため、端末から番号がダイヤリングされた場合、いったんダイヤリング番号を本装置が蓄積し、ダイヤリング確定後に回線へと出力を行うため、通常の電話回線と比べダイヤリング後に通話可能となるまでが数秒ほど長くなる場合があります。

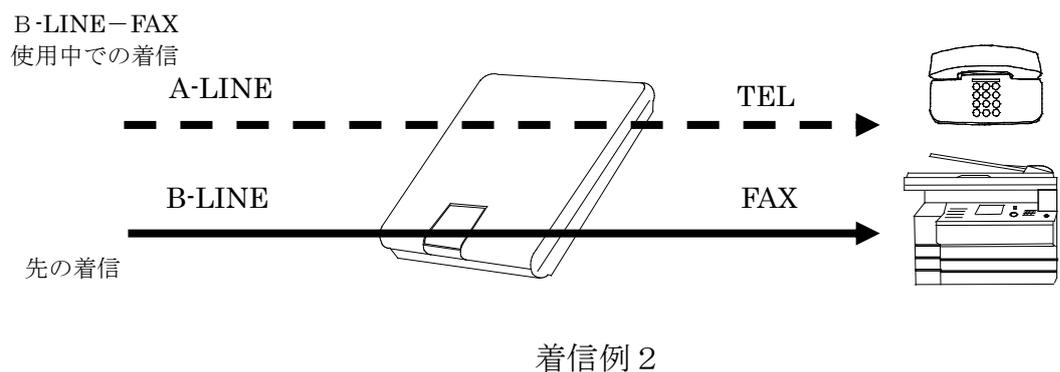
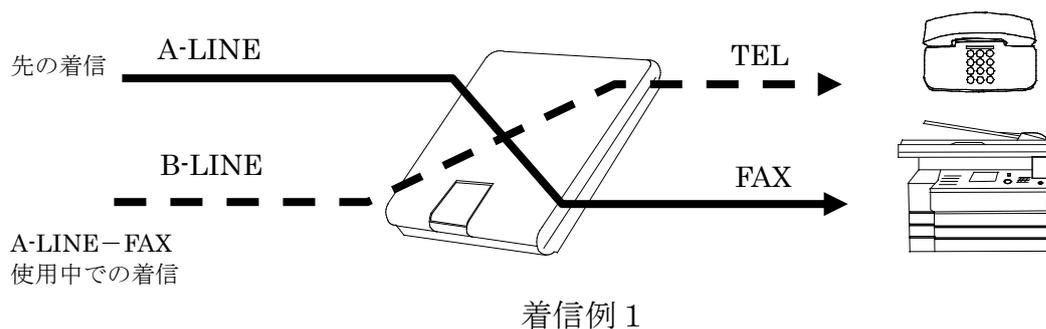
回線種別設定について、端末の受話器を上げた状態(オフフック)からダイヤリング確定までは、本装置の回線種別設定に依存しますが、ダイヤリング確定後に相手側を呼出し、通話可能となった後は端末側のダイヤリング設定に依存します。

端末側がトーンダイヤリング(PB)に設定されているときに、回線側をダイヤリングパルス(DP)に設定されているものを選択した際、ダイヤリングパルスでは無効な「#及び*」は無視され、「#及び*」が他の番号に含まれてダイヤリングした際は、「#及び*」を省いて回線へのダイヤリングを行います。

6. 基本的な使い方 1 (着信動作)

本装置は、2回線を1端末へと収容する機能を基本としています。そのため、A-LINE・B-LINEともに使用していない状態で、どちらか片方から着信があった場合、いずれの回線からの着信においてもFAXコネクタにつながれた電話機などの端末へとつながります。

また、どちらかの回線とFAXコネクタとの間が使用中であった場合に、もう片方からの回線から着信がある場合には、TELコネクタにつながれた端末へとつながります。



6. 基本的な使い方 2 (発信動作)

自動回線選択

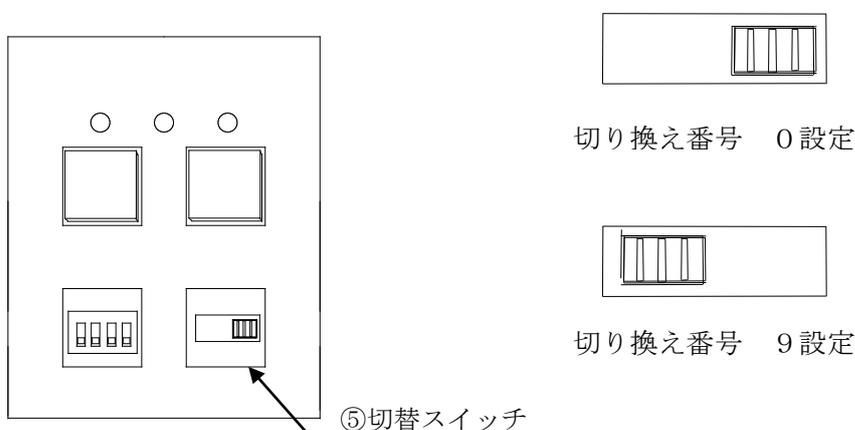
各端末からの発信時においては、特に指定が無い場合は「FAX-BLINE」及び「TEL-BLINE」をつなぎます。

ダイヤリング時での選択 (FAXコネクタのみ)

FAXコネクタに接続されている装置において、A-LINE及びB-LINEともに空いている状態であるときは、常時B-LINEへと接続するようになっています。また、ダイヤルの前に回線切り換え番号を押し、一定間隔 (ポーズ) を置いてから電話番号をダイヤルすることで、A-LINEへと切り替えることができます。

回線切り換えの番号は、⑤切り換えスイッチにて、『0』もしくは『9』を選択することができます。

※TELコネクタ側はダイヤルによる切り換えを使用することはできません。



<注意！>

FAXコネクタに接続されている端末から回線へと発信を行う際、すでにTELコネクタに接続されている端末を使用しているときは、「0及び9ポーズ」による回線切替動作はできません。

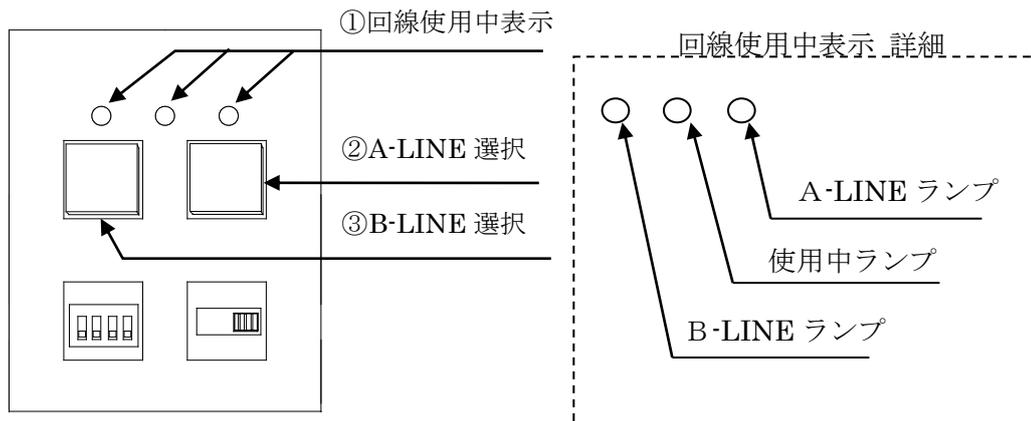
またその際、切替番号として端末からダイヤリングされ切替動作が行われなかった場合、「0及び9ポーズ」は回線へと出力されます。

*

6. 基本的な使い方 2 (発信動作)

手動切り換え

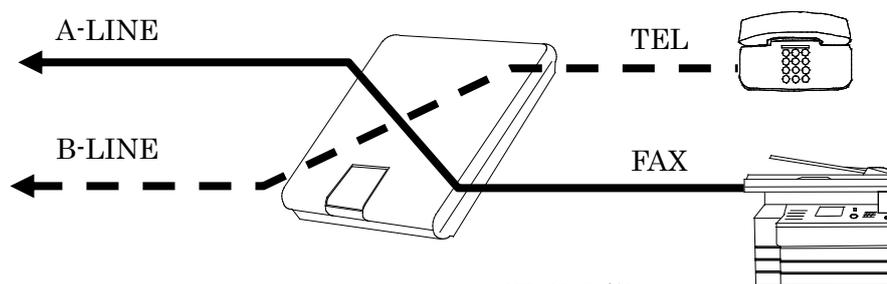
本装置では、回線切り換えを本装置のボタンにて手動で行うことができます。



[A-LINE 選択]

A-LINE 選択ボタンを押した場合、本装置のFAXコネクタとつながる回線はA-LINEとなります。また、TELコネクタとつながる回線はB-LINEとなります。

電源投入時は、B-LINE 選択となり、A-LINE 選択ボタンを押して5秒間はA-LINE 選択状態となりますが、その間電話機などの操作が確認されない場合は、自動的にB-LINE 選択状態となります。

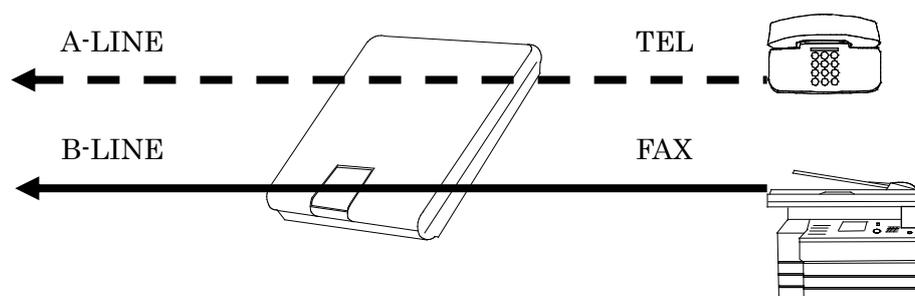


A-LINE 選択時は、回線仕様中表示上のA-LINE ランプが点灯します。

[B-L I N E 選択]

B-L I N E 選択ボタンを押した場合、本装置の F A X コネクタとつながる回線は B-L I N E となります。また、T E L コネクタとつながる回線は A-L I N E となります。

電源投入時は、B-L I N E 選択となり、誤って A-L I N E 選択ボタンを押して即時に切り替えたい場合などに B-L I N E 選択ボタンを押します。



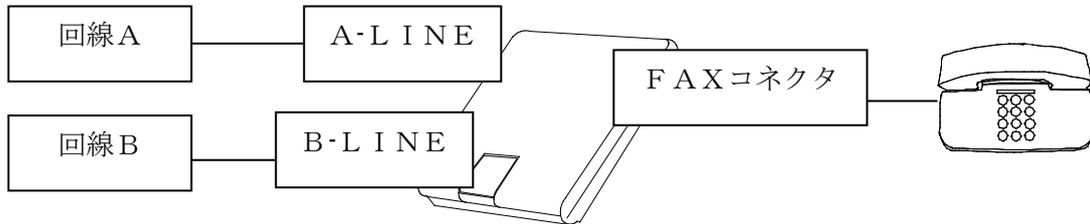
B-L I N E 選択状態

B-L I N E 選択時は、回線使用中表示上の B-L I N E ランプが点灯します。

7. 接続例

2つの回線を1つの電話機にて収容

2つの回線を1台の端末で使用する場合は、FAXコネクタに電話機やFAXなどを接続します。本装置はいずれの回線も使用されていない状態で、どちらか1つの回線から着信があった場合は、FAXコネクタへと接続していますので、1台の端末で2回線扱いたい場合などに便利です。

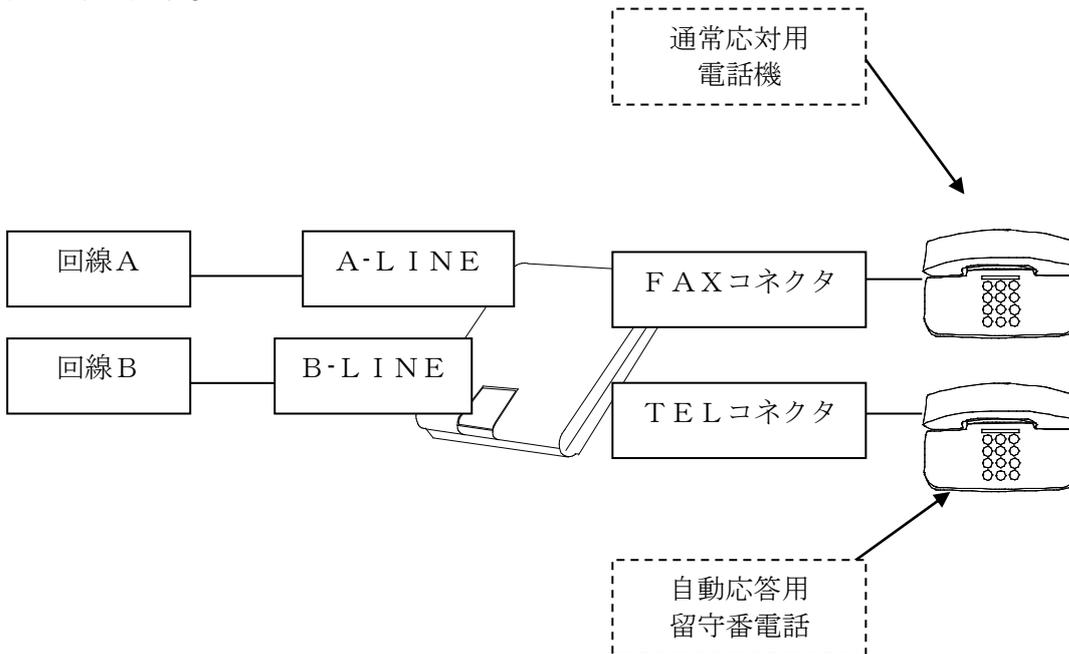


FAXコネクタに接続された電話機などからの発信においては、特に指定が無い場合はB-LINEに接続された回線が使用されます。

なお、FAXコネクタを使用中にもう片方からの着信があった場合、その回線側はFAXコネクタでの通話が終了するまで呼びっぱなしになります。

1つの端末で応対し、もう片側を留守番応答にする

一人で電話応対をしたい場合、電話の2台の電話機を接続して、片方を留守番電話で自動応対を行う。



どちらの回線も利用していないときは、FAXコネクタの電話機に着信があります。また、FAXコネクタの電話機を使用中にもう片方の回線から着信があった場合に、留守番電話機を接続することにより、簡易的な音声応答システムとして構成することが可能です。

8. 仕様一覧

収容回線数	2回線
接続端末数	2 端末（電話機/FAX）技術基準適合認定品
電 源	DC15V/400mA 電源アダプタ（センタープラス AC100V 50Hz/60Hz）
消費電力	最大 3W
本体寸法	220 mm(D) × 170 mm(W) × 43 mm(H)
質 量	0.5kg
認定番号	S88-0026-0

MEMO

MEMO

製品保証書

型番	製造番号
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	(お買い上げ日より)
郵便番号	〒□□□□□□
ご住所	TEL
ご会社名	様 TEL
ご担当者名	TEL
代理店	TEL
住所	TEL
氏名	TEL
営業所名	TEL
住所	TEL
担当者	TEL

この製品は下記の通り保証いたします。

1. この製品は、厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。保証期間内に、正常な使用状態において万一故障した場合には、1年間無償で修理いたします。
2. 修理に、必ずこの保証書をご提示の上お申しつけください。
3. 無償修理期間内には、有償修理期間も、下記に記載する項目に該当する場合は有償修理となります。
4. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。

LET'S

株式会社 **LET'S** コーポレーション

今、求められるニーズを



次の場合には有償修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の搬送、移動、落下等による故障および損傷。
- (ハ) 付属機器、回線、故障および損傷。
- (ニ) 火災、風水害、地震、雷その他の天災地変および異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
- (ホ) 特殊環境（たとえば極度の湿気、塩害、ガス害、公害、塵埃、極寒など）による故障および損傷。
- (ヘ) 保証書のご提示がない場合。
- (ト) 保証書の紛失あるいは所定事項の未記入または字句を勝手に訂正された場合。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

9. お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、
販売店もしくは弊社までお願いいたします。

株式会社 レッツ・コーポレーション

本 社：〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1
レッツ丸の内本社2号館ビル
T E L (052)201-6230
F A X (052)201-5050

東京営業所：〒104-0061
東京都中央区銀座8丁目19-3
銀座竹葉亭ビル6F
T E L (03)3546-0889
F A X (03)3546-0941

大阪営業所：〒532-0003
大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9
新大阪ハイロードビル5F
T E L (06)6151-5749

インターネットウェブサイト <https://www.lets-co.jp/lets>

LET'S corporation
株式会社 **レッツ** コーポレーション